令和5年度廿日市市公共交通協議会（第8回） 要点

日 時：令和6年3月22日（金）14時00分～15時00分

場 所：廿日市市役所 7階会議室

委員総数：27名

出席委員数：19名（廿日市市公共交通協議会規約第8条第2項の規定による定足数を充足）

傍聴者数：0名

1 開会

2 報告

(1) 報告第1号：令和5年12月再編実施後の市自主運行バス・広電バスの利用状況について
《質疑応答・意見》

A委員：これまでにはなかった取組みとして、昨年12月から廿日市さくらバスと広電バスの一体的な運行をしている。さくらバスの利用状況とは反して、減便の影響もあり、広電バスの利用者数は20%以上減少した。少子高齢化等が影響していると考えているため、引き続き分析の必要がある。夕方以降の利用者数が多い時間帯を減便したため、減便率以上に利用者の減少率は大きくなっている。引き続き廿日市市と一体的に取り組みたい。

3 協議

(1) 議案第1号：おおのハートバスの再編について

B委員：大野地域のことをよく考えられた改善案を提案いただき、ありがたいと思っている。区長会の方々にも納得していただけたと思う。

会 長：学校との連携はどうなっているのか。

事務局：おおのハートバスは従来から朝の便を通学用のバスとして位置付けている。大野学園と調整し、再編後についても朝の便を通学用の便として確保した。

会 長：大竹市が運行するこいこいバスとおおのハート横断ルートとの接続はどうなっているか。

事務局：可能な限り接続を意識し、玖波駅で上りか下りどちらかに乗り継げるようにダイヤを設定した。

会 長：こいこいバスはダイヤ改正の予定はあるか。

C委員：事故が発生したため、運行間隔を長くするようダイヤを調整する予定である。時期はまだ決まっていない。

D委員：複雑な路線がシンプルでわかりやすい路線になったと思う。再編案として、運行間隔を均等化したダイヤへ変更されていてよいと思うが、さらに、覚えやすいダイヤに設定してみてもどうか。こいこいバスのような40分間隔などのわかりやすいパターンダイヤも検討してほしい。

事務局：わかりやすくすることは重要だと認識している。しかし、車両と乗務員に限界があるため、その中で可能な限りわかりやすいダイヤに設定したい。

会長：令和6年6月の協議会で正式に再編内容を提示する予定である。

(2) 議案第2号：佐伯さくらバス（玖島線・浅原線）のダイヤ改正について

E委員：利用しやすいように改訂してありがたい。佐伯さくらバス玖島線について、佐伯地域のPTAや地域自治組織等から市長宛てに要望を挙げたことに対して、早急に対応して頂きありがたい。来年度の冬期には間に合わないと思っていたが、10月には新しいダイヤで運行開始予定とのことで非常にありがたい。再編内容の告知はどうするか。

事務局：地域自治組織等にダイヤを報告した後、再度協議会にかけダイヤを改正する予定である。周知については、市ホームページ、バス停・車内で周知する。

会 長：学校への周知はするか。

事務局：事前に関係する学校には説明している。今日の協議会で修正等がでなければこのダイヤ案の内容で進める。

4 その他

(1) 宮島でのグリーンスローモビリティの実証実験について

会 長：結果の効果検証ができていない状況であるが、検証次第説明するという事でよいか。

事務局：その通りである。

F委員：本格運行はいつからか

事務局：実証実験の効果検証後に事業化を検討していく予定である。

G委員：本格運行するかはまだ決まっていないということか。

事務局：その通りである。実証実験の効果検証を行った上で事業化する際の経費等を鑑み事業化するかどうかを含め検討していく。

5 閉会